

(ちば経済トレンド 11月号)

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、設備面のみならず心のバリアフリー化などの準備をオール千葉で進めたい。共生社会を実現する国際都市としての千葉県のブランド力を強化することが、県内開催のレガシー（未来への資産）となる。

リオオリンピック・パラリンピック（以下オリ・パラ）の熱い戦いが終わり、10月7日に都内で開催されたメダリストたちの凱旋パレードに約80万人が集まるなど、次は東京大会という気運が高まりつつある。県内における最近のオリ・パラ関連の動きをみても、①千葉ポートアリーナが車椅子バスケのナショナルトレーニングセンターに指定される（7月）、②追加競技に決定したサーフィン会場が一宮町釣ヶ崎海岸が有力候補地となる（8月）、③ベイカー茉秋、加藤凌平、田中佑典のリオ大会金メダリスト（県内高校・大学を卒業）へ県民栄誉賞が授与される（10月）など、盛りだくさんである。事前合宿の誘致でも千葉県はスリランカやオランダなど5か国の事前合宿誘致に成功しており、他県を一步リードしている（図表1）。

千葉県内ではオリ・パラともに4競技が開催されるが、パラ競技数が東京に次いで多いことも特徴の1つである。もっとも、障がい者スポーツに身近に触れる機会が多いことは県民にはあまり知られていない。県内では5月にウィルチェアーラグビー（リオ大会で銅メダルを獲得）の国際大会（千葉ポートアリーナ）が開かれたほか、リオ大会の開催前後にも県内でパラリンピックのパブリックビューイングや競技体験などのイベントが実施された。9月に行われた「パラスポーツフェスタちば」や「To The 2020 CHIBA CITY」では、ゴールボール（県内実施競技）などの体験コーナーにおいて市民が観戦するだけではわからない競技の奥深さやアスリートの能力の高さを実感した。

今年度後半も車椅子スポーツの全国大会が予定されており（図表2）、2020年に向けて、より多くの人が競技会場に足を運び障がい者スポーツについて理解を深め、関心を持ってもらうことが期待される。

またパラ競技の県内開催により、設備のバリアフリー化のみならず障がい者教育など心のバリアフリー化を進めることは、千葉県の国際都市としての地位やブランド力を高める大きなレガシーとなり得る。東京オリ・パラは、障がい者や外国人など多様な人が暮らしやすい県としてアピールできる絶好の機会であり、確りと準備して対応することは千葉県が直面する超高齢化社会に備えたまちづくりにも資する。オール千葉で力を結集してさらに気運を高め準備を進めたい。（大村）

(図表1)競技実施県の比較

|             | 東京                | 千葉   | 神奈川                             | 埼玉                      | その他(北海道・宮城・静岡)  |  |
|-------------|-------------------|--|---------------------------------|-------------------------|---|--|
| オリンピック      | 21競技              | 4競技(内定含む)                                    | 2競技                             | 4競技                     | 2競技   |  |
|             |                   | レスリング<br>フェンシング<br>テコンドー<br>サーフィン(注1)        | セーリング<br>サッカー                   | 江の島ヨットハーバー<br>横浜国際総合競技場 | サッカー<br>埼玉スタジアム2002<br>さいたまスーパーアリーナ<br>射撃<br>陸上自衛隊朝霞訓練場<br>ゴルフ<br>霞ヶ関カントリー倶楽部 | 札幌ドーム<br>宮城スタジアム<br>伊豆ベトドーム<br>伊豆マウンテンバイクコース |
|             |                   | 幕張メッセ<br>一宮                                  |                                 |                         |   |  |
|             |                   |  |                                 |                         |   |  |
| パラリンピック     | 16競技              | 4競技  | 0競技                             | 1競技                     | 1競技   |  |
|             |                   | ゴールボール<br>テコンドー<br>シッティングバレーボール<br>車椅子フェンシング |                                 | 射撃<br>陸上自衛隊朝霞訓練場        | 自転車(トラック・レース)<br>伊豆ベトドーム<br>自転車(マウンテンバイク)<br>伊豆マウンテンバイクコース                    |  |
| 事前合宿決定先(注2) | アメリカ<br>オリンピック委員会 | スリランカ、アメリカ(陸上)、<br>オランダ、ドミニカ共和国、<br>ルーマニア    | イギリスオリンピック委員会<br>エリトリア<br>リトアニア |                         | 【宮城】イタリア、パラオ<br>【静岡】モンゴル  |  |

(注1)12月正式決定見込み (注2)事前合宿決定先は、各都道府県の担当課にヒアリングした

(図表2)今後県内開催する主な障がい者スポーツ大会

| 会場        | イベント名                               | 実施日          | 実施内容  | 参加者数              |
|-----------|-------------------------------------|--------------|---|-------------------|
| 千葉ポートアリーナ | 第18回ウィルチェアーラグビー日本選手権大会              | 16年12月16～18日 | ウィルチェアーラグビーの国内最高峰の大会。予選を勝ち抜いた8チームが、全国より集結し、頂点を目指す | 約100名<br>(前回決勝観客) |
|           | 第6回長谷川良信記念・千葉市長杯争奪車椅子バスケットボール全国選抜大会 | 17年3月4～5日    | 日本選手権大会の前哨戦として全国から選抜された強豪チームが集結                   | 72名<br>(前回選手)     |